

## 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

- 1989年8月23日 北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業（ふるさと創生事業）」として「アジアの女性の研究・研修システム（仮称）アジア女性フォーラム」が101の案の中から選定される。
- 11月1日 アジア女性フォーラム（仮称）の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。
- 12月26日 基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。
- 1990年1月19日 東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォーラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。
- 2月11日 北九州市の7区に組織されている「女性会議実行委員会」の主権により、アジア女性交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。
- 3月30日 基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言する。
- 3月31日 '90 アジア国際シンポジウム「アジア・女性・未来～共に考え共に歩もう」を開催する。
- 6月～9月 第1回アジアセミナーを開催する。（～2000年まで毎年開催）
- 7月5日 アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。
- 7月23日 アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。
- 10月20日 **アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長 高橋久子）
- 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。
- 10月 共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。
- 1991年3月9日 第1回アジア女性会議—北九州「アジアと女性の今」を開催する。
- ～10日 （以後毎年開催）
- 3月 情報誌『Asian Breeze』創刊
- 4月 プロジェクト研究事業が開始される。
- 5月 海外通信員制度始まる。（以後毎年実施）
- 12月1日 第2回アジア女性会議—北九州「政策決定における女性」を開催する。
- ～2日
- 1992年3月18日 第1回女性の地位向上のための行政官セミナー（JICAの委託事業）を開催する。
- ～27日 （以後毎年開催。2002年からは「ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」、2010年からは「行政官のためのジェンダー主流化政策」に名称変更）
- 7月24日 1993年10月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。
- 11月13日 第3回アジア女性会議—北九州「環境と開発と女性」を開催する。
- ～15日
- 11月24日 国連婦人開発基金（ユニフェム）の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。

- 1993年 3月 『アジア女性シリーズ』第1号が発刊される。(中国)
- 5月 「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。
- 9月17日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。
- 9月22日 労働省より、財団法人としての設立を許可される。
- 10月1日 **財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立** (理事長 高橋久子)
- 11月19日 第4回アジア女性会議—北九州「地球の未来と人口」を開催する。  
～21日
- 1994年 2月 8日 高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 4月 共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。
- 9月1日 第1回海外通信員セミナーを開催する。  
～8日
- 11月18日 第5回アジア女性会議—北九州「女性と家族」を開催する。  
～20日
- 1995年 4月 1日 北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。
- 6月15日 事務所を北九州市大手町ビルに移す。
- 6月22日 第2代理事長に奥田八二氏が就任する。
- 7月1日 北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。  
～8日
- 9月4日 国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第4回世界女性会議にオブザーバー参加する。また、NGOフォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。  
～11日
- 11月17日 第6回アジア女性会議—北九州「女性と労働」を開催する。  
～19日
- 1996年 2月16日 第1回環境と開発と女性セミナー (JICAの委託事業) を開催する (～2008年まで毎年開催)  
～3月21日
- 11月15日 第7回アジア女性会議—北九州「女性とメディア」を開催する。  
～17日
- 1997年 1月 ホームページを開設する。
- 4月1日 三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 9月22日 「客員研究員制度」を設置する。
- 11月7日 第8回アジア女性会議—北九州「女性と教育」を開催する。  
～9日
- 1998年 3月24日 第3代理事長に高橋久子氏が就任する。
- 6月 「国際協力カレッジ」を開催する。
- 10月10日 財団設立5周年記念事業を実施する。
- 11月7日 第9回アジア女性会議—北九州「ジェンダーの視点の主流化 (メインストリーム) をめざして」を開催する。  
～8日
- 12月12日 地球市民教育地域セミナーを開催する。  
～13日

- 1999年 4月12日 「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。  
 9月 「フォーラム懇話会」を実施する。  
 10月17日 「女性起業家支援塾」（北九州市立女性センターの委託事業）を開催する。  
 ～ 31日  
 11月 6日 第10回アジア女性会議—北九州「男女共同参画の世紀を拓く～女性2000年会議とその後～」を開催する。  
 ～ 7日
- 2000年 1月 9日 「女性起業家スタディツアー」（アメリカ サンフランシスコ）を実施する。  
 ～ 15日  
 6月 5日 国連特別総会「女性2000年会議—21世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブザーバーとして参加する。  
 ～ 9日  
 6月 5日 「女性2000年会議」に関連したNGOのシンポジウム「北京+5 グローバルフェミニストシンポジウム（アメリカ ニューヨーク）」に参加する。またワークショップを開催する。  
 ～ 8日  
 9月 3日 北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議（第11回アジア女性会議—北九州）」を開催する。  
 11月 自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。  
 12月28日 理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。
- 2001年 2月25日 「環境問題を考えるスタディツアー（マレーシア）」を実施する。  
 ～ 3月 5日  
 4月 1日 原ひろ子氏が初代会長に、第4代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。  
 7月26日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）北東アジア準備会合及びマルチステークホルダー会合（中国 北京）」に参加する。  
 ～ 28日  
 7月～ 9月 北九州博覧祭2001の関連事業を実施する。  
 ・JICA研修員による報告「世界から日本へ！日本から未来へ」  
 ・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」  
 9月12日 第1回北東アジア女性環境会議（韓国 ソウル）に参加する。  
 ～ 16日  
 10月 6日 第12回アジア女性会議—北九州「自分らしく健康に生きる～ジェンダーを超えて」を開催する。  
 ～ 7日  
 11月24日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）に向けてのハイレベル地域会合及び  
 ～ 12月 1日 持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル（カンボジア プノンペン）」に参加する。  
 11月28日 「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナー Part1 を開催する。  
 ～ 12月 2日
- 2002年 1月18日 環境シリーズセミナー「リオ+10 ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。  
 2月 9日 北九州市と東京で「円卓会議：持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）に向けて」を開催する。  
 ～ 17日  
 3月 1日 第46回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。  
 ～ 10日  
 3月22日 アフガニスタンセミナー Part2 を開催する。  
 3月23日 「WSSD 第3回準備会合（アメリカ ニューヨーク）」に参加する。  
 ～ 4月 5日  
 3月25日 「環境問題を考えるスタディツアー（中国、韓国）」を実施する。  
 ～ 30日

- 4月1日 北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。
- 7月 国連経済社会理事会の NGO 協議資格を九州で初めて取得する。
- 7月31日 国際協力事業団（JICA）国際協力功労者表彰を受賞する。
- 8月23日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグ・サミット）に参加（フォーラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた）し、各国女性 NGO とワークショップを開催する。
- ～ 9月5日
- 10月12日 日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環境会議（第13回アジア女性会議—北九州）」を北九州市と東京で開催する。
- ～ 14日
- 2003年3月2日 第47回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- ～ 16日
- 3月16日 第3回世界水フォーラム（京都、滋賀、大阪）に参加する。
- ～ 21日
- 5月 「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAW カレッジ」を開催する。
- 5月17日 北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。
- 10月11日 財団設立10周年記念事業を実施した。
- 12日 第14回アジア女性会議—北九州「女性のエンパワーメントと ICT」を開催する。
- 2004年2月26日 第48回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- ～ 3月13日
- 6月29日 「アジア太平洋 NGO フォーラム」参加スタディツアー（タイ バンコク）を実施する。
- ～ 7月4日
- 9月7日 国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議（タイ バンコク）に参加する。
- ～ 10日
- 11月6日 第15回アジア女性会議—北九州「北京+10に向けて 人間の安性保障とジェンダー」を開催する。
- ～ 7日
- 2005年2月28日 第49回国連女性の地位委員会（CSW）「北京+10」閣僚級会合（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- ～ 3月6日
- 11月5日 第16回アジア女性会議—北九州「歴史を拓いた女性たち」を開催する。
- ～ 6日
- 12月7日 『北九州市女性の100年史 おんなの軌跡 北九州』を発刊する。
- 2006年1月16日 「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。
- ～ 23日
- 2月27日 第50回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。
- ～ 3月10日
- 2月19日 「ノーベル平和賞受賞者 ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして」を開催（エコライフステージ実行委員会との共催）する。
- 4月1日 北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。
- 9月28日 北九州 ESD（持続可能な開発のための教育）協議会（44団体）が設立される。
- 10月 環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受けた。
- 10月15日 『新聞にみる北九州市女性の100年史 おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

- 11月11日 北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。  
～ 12日
- 11月18日 第 17 回アジア女性会議—北九州「公正で豊かな未来を創る～持続可能な開発のための教育とは～」を開催する。  
～ 19日
- 12月 5 日 国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点 (RCE)」に認定される (日本で 4 番目)。
- 2007年 2月26日 第 51 回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加する。  
～ 3月 9 日
- 3月 1 日 「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディーツアー (オーストラリア)」を実施する。  
～ 8 日
- 4月 1 日 原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第 2 代会長に、吉崎邦子氏が第 5 代理事長に、それぞれ就任する。  
北九州 ESD 協議会の事務局となる。
- 10月12日 持続可能な開発のための教育 (ESD) をテーマにスタディーツアー (韓国) を実施する。  
～ 16日
- 11月10日 第 18 回アジア女性会議—北九州「つながる ひろがる 地球の未来」を開催する。  
～ 11日
- 12月14日 在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。
- 2008年 2月22日 第 52 回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加する。  
～ 3月 7 日
- 3月10日 海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。  
～ 12日
- 4月 KFAW アジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。
- 5月26日 仁川 YWCA の一行 (11 名) が来北する。
- 6月25日 韓国・忠清南道女性政策開発院 (CWPD) 主催の国際会議に参加・日本の現状を発表する。
- 9月 6 日 財団設立 15 周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。
- 11月15日 CWPD と日韓国際セミナーを共同で開催する。
- 11月15日 第 19 回アジア女性会議—北九州「地球を食べる、地球で食べる—あなたは食を通して何を考えますか？」を開催する。  
～ 16日
- 2009年 2月27日 第 53 回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、KFAW 主席研究員がサイドイベントで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。  
～ 3月 6 日
- 3月31日 北九州 ESD 協議会事務局が北九州市環境局に移管される。
- 4月 1 日 三隅佳子氏が顧問に就任する。
- 6月 ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ (KFAW アジア研究者ネットワーク)。
- 8月 6 日 北九州 YMCA とロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行 (7 名) との交流プログラムを実施する。
- 8月10日 在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ; アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。
- 9月13日 第 2 回日韓国際セミナー「大地から食卓へ—ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。
- 9月29日 北九州市・大連市友好協定 30 周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ (KFAW) を訪問する。

- 10月26日 在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。
- 11月2日 韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPI）と学术交流協定を締結する。
- 11月28日 第20回アジア女性会議—北九州「現在（いま）、世界の女性たちは—北九州から世界  
～29日 を視（み）る—」を開催する。
- 2010年2月26日 第54回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。  
～3月7日
- 3月1日 第54回国連女性の地位委員会（CSW）パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPI）と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題～日本と韓国の経験から」を開催する。
- 6月1日 韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPI）と共同で、2010 CWPI 開院11周年韓日共同セミナー（第3回日韓共同セミナー）「韓日女性の地域における政治参加の拡大政策」を韓国で開催する。
- 7月30日 中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。
- 7月 大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立15周年」を祝すメッセージが届く。
- 10月 東アジア学会20周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。
- 11月13日 第21回アジア女性会議—北九州「世界の子育て—子ども・親・社会のカタチ—」を開催する。  
～14日
- 2011年1月22日 北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。
- 1月～2月 KFAW デートDV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。（全4回）
- 2月26日 第55回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、サイドイベント「日本において農  
～3月3日 林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリストとして発表する。
- 4月1日 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。
- 8月 市内高校、大学等の約5,000人を対象に、デートDV 予防教室講師派遣事業を実施する。（～2012年3月）
- 8月31日 学术交流協定締結機関 韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPI）を訪問する。
- 9月1日 韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。
- 11月26日 第22回アジア女性会議—北九州「災害と向き合う—東日本大震災から学ぶ」を開催する。  
～27日
- 11月27日 KFAW 日韓共同研究報告会（第4回日韓セミナー）「子育て支援ネットワーク—日韓比較」を開催する。
- 12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。
- 2012年2月26日 第56回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「日本の農村女  
～3月4日 性のエンパワーメント—経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。
- 11月10日 第23回アジア女性会議—北九州「力を合わせよう—女性、女兒への暴力をなくすために」を開催する。
- 12月8日 第23回 KFAW 研究員報告会を開催する。

- 2013年 2月 2日 ワールドリポート（第5回日韓セミナー）「日韓米の多文化共生」を開催する。
- 3月 2日 第57回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「アジア女性交流・研究フォーラムのデートDV/DV防止に向けた取り組み」を開催する。  
～ 8日
- 4月 1日 **公益財団法人に移行**  
第6代理事長に堀内光子氏が就任する。
- 8月10日 DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
- 9月～10月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学3校で試験的に実施する。
- 11月 9日 財団設立20周年記念事業として、第24回アジア女性会議—北九州「女性の活躍が日本、世界を変える」を開催する。
- 11月10日 財団設立20周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。
- 2014年 2月 2日 第24回KFAW研究員報告会を開催する。
- 2月23日 KFAWスタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。  
～ 3月 2日
- 4月11日 第58回国際女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。
- 5月～12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学5校で実施する。
- 8月10日 DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
- 10月20日 仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及び交流会に参加する。  
～ 22日
- 12月 3日 ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合  
～ 5日 を開催する。
- 12月 6日 第25回アジア女性会議—北九州「女性の働き方としての起業」を開催する。
- 2015年1月22日 海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは～海外通信員を囲んでアジアを知ろう～」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とした国際交流プログラムを実施する。  
～ 25日
- 2月 7日 第25回KFAW研究報告会を開催する。
- 2月23日 KFAWスタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。  
～ 3月 4日
- 5月15日 第59回国連女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。
- 6月～12月 キャリア形成プログラムを市内大学4校及び市内高校1校で実施する。
- 6月12日 第26回KFAW研究報告会を開催する。
- 9月 5日 KFAWスタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」を実施する。  
～ 12日
- 9月19日 DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
- 10月 「市内製造業の女性活躍推進に関する調査」を実施する。  
～ 2016年3月
- 10月31日 第26回アジア女性会議—北九州「女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して」を開催する。
- 11月 1日 ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会を実施する。
- 2016年 1月23日 ワールドリポート「いま、世界の女性たちは～世界の行政官を囲んで～」を開催する。
- 2月14日 第27回KFAW研究報告会を開催する。

- 5月19日 第60回国連女性の地位委員会（CSW60）帰国報告会を開催する。
- 7月8日 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング「高齢化する社会と地域における女性の活躍」を開催する。
- 9月6日 ハノイ女性連盟との共同企画「ハノイスタディツアー 2016」を実施する。  
～10日
- 9月～11月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び八幡西生涯学習総合センターで実施する。
- 11月26日 第27回アジア女性会議—北九州「“誰一人取り残さない”世界の実現～SDGs（持続可能な開発目標）の達成のために何ができるか」を開催する。
- 12月14日 「KFAW 仙台スタディツアー 2016」を実施する。  
～16日
- 2017年2月25日 ワールドリポートセミナー「女性と災害」を開催する。
- 3月28日 第28回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 5月15日 「2017年 GSW ポストカンファレンス in 北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」を開催する。
- 6月23日 第61回国連女性の地位委員会帰国報告会（CSW61）を開催する。
- 7月～9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
- 11月25日 第28回アジア女性会議—北九州「あなたの老後、だれが看るの？～高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます～」を開催する。
- 2018年1月17日 「KFAW 台湾スタディツアー 2017」を実施する。  
～20日
- 3月25日 第29回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 6月14日 第62回国連女性の地位委員会（CSW62）帰国報告会を開催する。
- 8月～9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
- 10月4日 ワールドリポートセミナー 国連女子差別撤廃委員会 パトリシア・シュルツ委員講演会「女子差別撤廃条約のより深い理解のために」を開催する。
- 11月17日 第29回アジア女性会議—北九州「オリンピック・パラリンピックとジェンダー」を開催する。
- 12月11日 「KFAW タイ・スタディツアー 2018」を実施する。  
～16日
- 2019年3月24日 第30回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 6月13日 第63回国連女性の地位委員会（CSW63）帰国報告会を開催する。
- 7月～8月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
- 10月19日 第30回アジア女性会議—北九州「みんなでつくろう、未来～北京女性会議から25年を控えて～」を開催する。
- 2020年1月18日 国際理解セミナー「アジアで最も男女平等が進む国・フィリピン講演会」を開催する。
- 2月9日 国際理解セミナー「のびのび communication ～国とジェンダーをこえて～」を開催する。

- 10月8日 第31回アジア女性会議—北九州「気候変動とジェンダー」を開催する。
- 11月14日 第1回アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー「女子差別撤廃条約とSDGs—ジェンダー格差先進国最下位から脱却するために—」を開催する。
- 12月6日 第31回KFAW研究報告会を開催する。(3月開催を予定していた分の延期開催)
- 2021年3月16日 第32回KFAW研究報告会を開催する。
- 3月21日 第65回国連女性の地位委員会(CSW65) NGOフォーラム パラレルイベント「Youth talk: climate action and gender (若者による討論:気候変動アクションとジェンダー)」を開催する。
- 3月 Twitter、Instagram アカウント開設
- 6月16日 第65回国連女性の地位委員会(CSW65) 報告会を開催する。
- 8月8日 高校生向けキャリア形成プログラム「高校生向けジェンダー講座」を実施する。
- 9月4日 国際理解セミナー  
「領事館セミナー×女性のエンパワーメント～多文化共生の視点から～」を開催する。
- 10月2日 第33回KFAW研究報告会を開催する。
- 11月5日 第32回アジア女性会議—北九州「ICTと女性～情報化時代における女性のエンパワーメント～」を開催する。
- 2022年3月12日 第34回KFAW研究報告会を開催する。
- 3月17日 第66回国連女性の地位委員会(CSW66)  
NGOフォーラムパラレルイベント「Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality (若者による討論:気候正義、防災、そしてジェンダー平等への行動)」を開催する。
- 5月15日 アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー「『変容するアジアの家族』出版記念セミナー」を開催する。
- 6月10日 第66回国連女性の地位委員会(CSW66) 報告会を開催する。
- 7月7日 第33回アジア女性会議—北九州プレイベント「モルドバに避難したウクライナの女性と子どもたち」イベントを開催する。
- 8月21日 高校生向けキャリア形成プログラム「ジェンダーを考える夏2022」を開催する。
- 9月30日 第33回アジア女性会議—北九州「みんなでフェミニストとして世界を旅しよう!～SDGs チャレンジと共に～」を開催する。
- 11月12日 国際理解セミナー「ジェンダー平等の現状と国連女子差別撤廃委員会」を開催する。
- 2023年1月25日 KFAW ランチタイムトーク (1回目) を開催する。
- 2月18日 第35回KFAW研究報告会を開催する。
- 2月20日 KFAW ランチタイムトーク (2回目) を開催する。
- 3月15日 KFAW ランチタイムトーク (3回目) を開催する。